



(財)おきなわ健康長寿研究開発センター附属おきなわ未病ケアセンター。8つの専門外来、健診、健康増進の機能を有し、「未病」をキーワードに、「沖縄の健康長寿日本一」と「市民のQOL向上」を図ることを目的としている。

おきなわ未病ケアセンター TEL (098)979-1010
<http://www.okikenju.or.jp/index.php>



『健康』『長寿』『美』をキーワードに、「より広い視点で町・人・自然を見つめよう!」をテーマに、うるま市内の8つのコースで行われた「第1回環金武湾ウォーキングフェスタ」。



うるま市内の中高生が演じる現代版組踊「肝高の阿麻和利」は、平成11年に当時の勝連町教育委員会が、子どもたちの感動体験と居場所づくり、ふるさと再発見を目的に企画した子どもと大人が参画する地域おこし。

あまわり浪漫の会 TEL (098) 978-0608
<http://www.amawari.com>

お問い合わせ / うるま市企画部まちづくり課
 TEL (098) 974-3111 (内線 1321)
<http://www.city.uruma.lg.jp>

健康管理センター、フィットネスジム、スパ(温熱)、宿泊施設を併設しています。

また、このセンターを活用したさまざまな健康プログラムの研究開発にも取り組んでいます。将来的には、県外のシニア層を対象とした、ニューツーリズム(健康ツアー等)の事業化を検討しています。

イベント・文化で地域振興

平成20年5月にうるま市・金武町・宜野座村合同で実施された「第1回環金武湾ウォーキングフェスタ」も環金武湾振興QOLプロジェクトの一つで、健康と地域の再発見を融合させた「歩く文化」の醸成という新しい

試みとして注目されました。うるま市内の中高生による現代版組踊「肝高の阿麻和利」は舞台公演とともに国内外から高い評価を受けていますが、地域の文化資産の有効的な活用という環金武湾振興QOLプロジェクトの大切な一翼を担っています。その他に、新たな観光リゾート施設として「沖縄暮しっく村」

の提案、「次世代エネルギーパーク構想」「世界ブランドホテルの誘致」など地域の特色を生かした戦略事業が計画されています。エネルギーのアジマア(交差点)から「健康・長寿・美」のアジマアへ。今後、さらに多様な健康長寿の知恵が、金武湾から世界へ発信されようとしています。